

募 集 要 項

氏 名：中 井 透	研究室：第3研究室棟1階1研究室
専攻分野：コーポレート・ファイナンス、中小企業経営	
演習テーマ：企業財務と資本市場	E-mail：nakai@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

このゼミでは、企業財務（コーポレート・ファイナンス）とそれを取り巻く日本や欧米の資本市場について、自ら設定したテーマに基づいて調査を進めていきます。決して「学びます」とか「講義がなされます」といった、学生の皆さんが「受け身」となるような表現は用いていませんし、そんなゼミ運営とはなっていないので注意してください。能動的に参加・貢献することが必須のゼミとなります。

企業財務が扱う内容は2つに大別されます。①事業運営に必要なお金をどのようにして集めるか考えることであり、②集めたお金をどのように使うかを考えることです。そして、それらはすべて、企業の価値を最大化することを目的として行われます。財務に長けた人間が経営の場において重要な役割を担うのは、こうしたことから明らかでしょう。

ゼミ生が自らで設定するテーマ（キーワード）としては、以下のようなものが想定されます。企業価値、資本コスト、運転資本、株式投資、社外取締役、レバレッジ、ガバナンス、ペイアウト、ストックオプション、ROE、IPO、EXIT、M&A、TOB、TOPIXなどなど。様々な文献や記事に触れることで、自分なりの問題意識を持ち、関心のあるテーマを設定して、卒業論文へと発展させていきます。なお、ファイナンスに関する用語はカタカナが多用されることもあり、原典を学習するという意味からも英語で書かれた文献を利用する（微細に訳するわけではありません）こともあります。

使用するテキストは未定で、当ゼミに所属することが決まった段階で各人に連絡します。まだ決定ではありませんが、学生の皆さんにイメージしていただくために、類似した内容の書籍を以下に記しておきます。図書館や書店でチェックしておくことを勧めます。

砂川伸之、他『日本企業のコーポレート・ファイナンス』日経BP。

浅岡大輔、他『ゼミナールコーポレートファイナンス』日本経済新聞社

<演習1>

ゼミで使用するテキストの他に、『週刊経営財務』『週刊金融財政事情』『証券経済研究』『ベンチャー白書』などを輪読し、そこで取り扱われているトピックスや背景となっている実態を把握することで興味関心領域を絞り込んでいきます。

<演習2>

文献の輪読は引き続き行います。加えて、図書館データベースからアクセスできる「企業情報データベースサービスeol」などを利用して財務データを用いたグループ演習を行うことも視野に入れています。

<演習3>

財務データの分析は引き続き行います。加えて、各人が設定したテーマを深堀していく作業と並行して、チームを組んで一つの目的に向かって作業する経験を積んでいきます。

<演習4>

演習3に準じます。加えて、卒業論文に向けた文献調査を行います。

<演習5・6>

当ゼミでは、3年間在籍して、演習5・6において必ず卒業論文を書いて卒業してもらいます。途中でのドロップは原則として認めていませんので、この点、十分に留意してください。完成した論文は卒業論文要約集『Vision Management』にまとめて刊行するとともに、当ゼミすべての学年が参加する卒業論文発表会において研究成果を発表します。

教員からの要望

ゼミでの学習、課題の履行は原則として個人作業中心となります。加えて、発表者に対する質問や助言が発表内容の質を高め、更には相互討議を通じてゼミ全体の雰囲気や質を高めることになるとの認識のもと、活発な意見交換が求められることとなります。同じ仲間と協力して同じ目的に向かって努力しようとする、積極性、協調性ある人を望みます。こうしたマインドを有する人たちによるグループ作業も適宜取り入れていきます。

課外活動を積極的に行って親睦を深め、教員とゼミ生、ゼミ生間の相互理解と良好な人間関係を構築したいと思っています。加えて、同じ学年に留まらず、学年を超えた交流を行うことでタテの関係を構築していきます。こうした多方面にわたる活発な人的交流に関心のない人は、当ゼミは向いていないと思います。なお、当ゼミの特徴は以下の通りです。

◆必ず指名します

当ゼミで最も重要視するテキストとは、ゼミ生の発言、意見とそれらを交換し合っ活発に行われる議論そのものであり、そこから生み出されるゼミ生独自の叡智です。当ゼミにおいて沈黙は「金」ではなく「禁」、しかも厳禁です。講義科目と違い、毎回のゼミでは必ず多くの人を指名します。活発な意見交換が求められます。

◆みんなでやります

ゼミの授業時間外で行われる公式のゼミ活動はすべて全員参加が原則です。遅くとも一ヶ月前には周知しますので、その間に、アルバイトなどの他の予定を調整してください。ゼミ活動の内容と実施頻度については中井研究室のホームページで確認してください。

◆時間にシビアです

講義はもちろん、課外活動においても、遅刻、無断欠席は一切認められていません。決められた時間を守れない人、相手のことを慮れない人はゼミの規律を乱すことが懸念されるため、ゼミ選びにおいて再考をお願いしています。

履修希望科目

1年次に「会計ファイナンス入門」、2年次に「財務管理論（基礎）（応用）」を履修してください。英語などの必修と重なった場合は必修を優先し「財務管理論」は3年次履修で対応してください。3年次では「中小企業経営入門」を履修してください。これらの科目で指定されている教科書（テキスト）は必ず購入し、演習受講の際に常に持参してください。

教員の自己紹介

中学軟式野球部、高校硬式野球部、大学体育会準硬式野球部（主将、全日本選抜）所属。礼節と協調性を重んじる体育会系男子。

（学会活動）日本財務管理学会会長・理事（2017年～2020年）、副会長・常任理事（2014年～2017年）、常任理事（2023年～2026年）、理事（2005年～2008年）。日本経営財務研究会評議員（2022年～2025年、2010年～2013年）、会計監事（2007年～2010年）。ビジネスクリエーター研究学会理事（2008年～2011年）、評議員（2011年～）。経営関連学会協議会評議員（2021年～）、など。

(本学での主要学務) 副学長・理事 (2017年～2020年)、進路・就職支援センター長 (2017年～2020年)、経営学部長 (2013年～2017年)、大学院マネジメント研究科長 (2013年～2017年)

(学外活動) 経済産業大臣登録中小企業診断士、社外取締役。

ゼミ生からの紹介

★2023年度3年生ゼミ長 卯川明杜

中井ゼミのメンバーは、メリハリを大切に、時には楽しく時には真剣に課題と向き合いながら、充実したゼミ生活を送っています。本来、コロナ禍でなければゼミ行事もかなり充実しているのではないかと思います。時間を守らなかったり、挨拶ができなかったりするとすごく怒られるので怖いですが、大好きなお酒が入ると好々爺となり、そのギャップが面白い先生です。